

■消防団編■

本市の消防団は、田辺藩時代から消防組が組員数203名をもって構成されており、明治27年勅令第15号により「消防組規則」が公布され、各地域に『消防組』が設立され、昭和14年警防団令の公布により『警防団』に名称を改称後、昭和22年10月に東団・西団の2個団体制で消防団が誕生しました。その後昭和28年4月に舞鶴消防団の機構を改革し、昭和32年5月27日加佐町が舞鶴市に編入、これに伴い消防団条例及び規則が改正され、現在の体制である東地区9個団、西地区11個団の合計20個団となりました。

(定員1,583名)

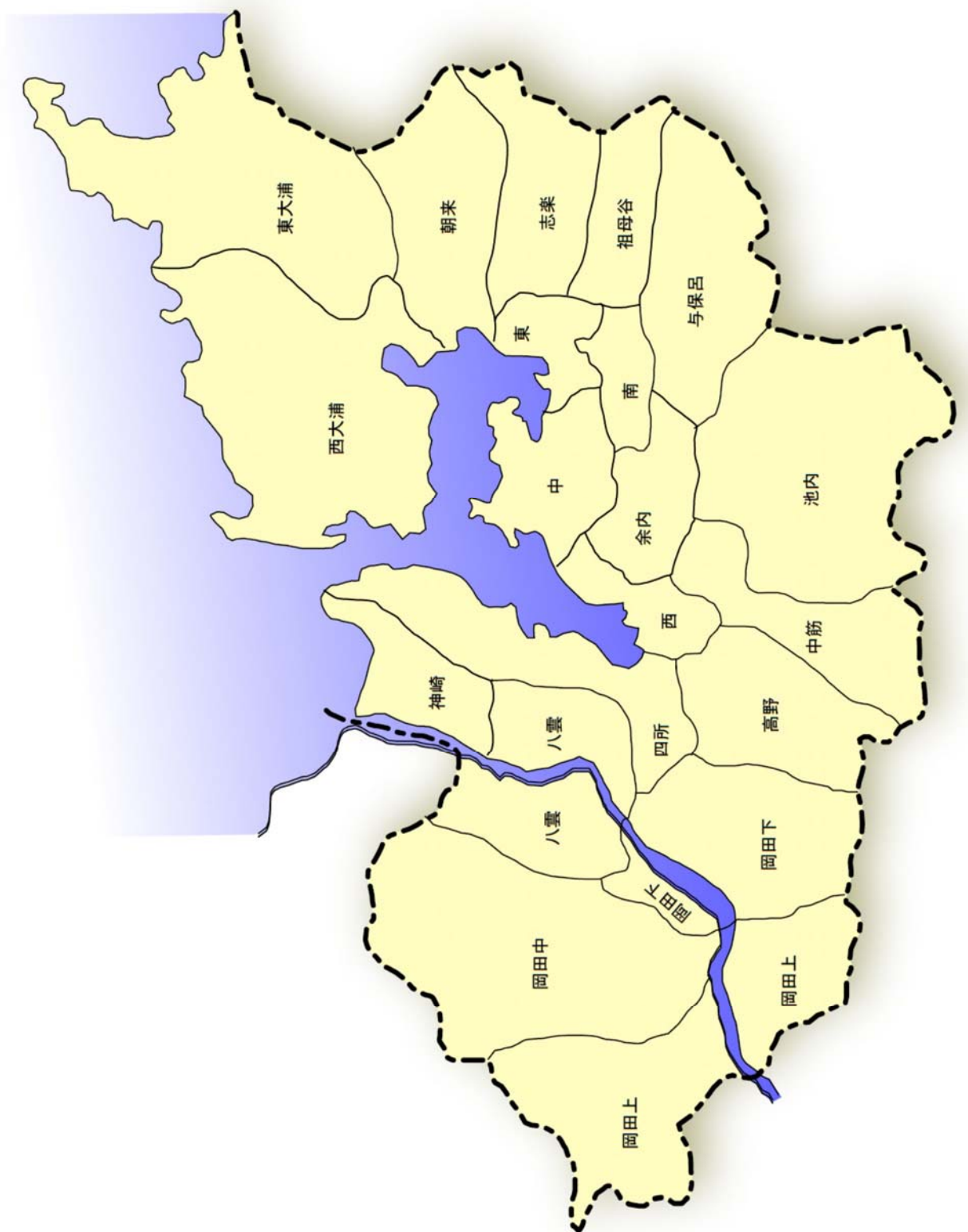
昭和47年6月28日舞鶴市消防団条例の一部を改正し、団員定数を1,380名に改正、また、各消防団別に部、班の改正を実施しました。

近年の団員数減少を受け令和2年5月1日に条例の一部を改正し団員定数を1,100名に改正、時代に即した消防団となりました。

本市の消防団はこの20個消防団のもと『自分たちのまちは自分たちで守る』という旺盛な郷土愛護精神をもって伝統ある活動を進めています。



■ 消防団管轄区域図



消防団員数推移

■ 消防団員数推移（5月1日現在）

年次	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	総数	平均
昭和24年	2	4	15	16	44	92	1,403	1,576	1,568
昭和25年	2	4	15	16	47	88	1,407	1,579	
昭和26年	2	4	15	16	47	88	1,407	1,579	
昭和27年	2	4	15	17	46	103	1,349	1,536	
昭和28年	15	15	廃止	廃止	45	90	1,035	1,200	1,190
昭和29年	15	15			45	94	1,019	1,188	
昭和30年	15	15			45	98	1,014	1,187	
昭和31年	15	15			45	99	1,011	1,185	
昭和32年	20	20			62	124	1,338	1,564	1,555
昭和33年	20	20			63	118	1,333	1,554	
昭和34年	20	20			63	118	1,333	1,554	
昭和35年	20	20			62	123	1,355	1,580	
昭和36年	20	20			62	123	1,344	1,569	
昭和37年	20	20			62	123	1,343	1,568	
昭和38年	20	20			62	123	1,338	1,563	
昭和39年	20	20			62	123	1,332	1,557	
昭和40年	20	20			62	123	1,313	1,538	
昭和41年	20	20			62	123	1,316	1,541	
昭和42年	20	20			62	123	1,319	1,544	
昭和43年	20	20			62	123	1,316	1,541	
昭和44年	20	20			62	123	1,326	1,551	
昭和45年	20	20			62	123	1,328	1,553	
昭和46年	20	20			62	123	1,320	1,545	
昭和47年	20	20			65	154	1,112	1,371	1,377
昭和48年	20	20			65	154	1,113	1,372	
昭和49年	20	20			65	154	1,112	1,371	
昭和50年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和51年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和52年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和53年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和54年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和55年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和56年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和57年	20	20			65	154	1,121	1,380	1,377
昭和58年	20	20			65	154	1,121	1,380	
昭和59年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和60年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和61年	20	20			65	154	1,119	1,378	
昭和62年	20	20			65	154	1,120	1,379	
昭和63年	20	20			65	154	1,118	1,377	
平成元年	20	20			65	154	1,113	1,372	
平成2年	20	20			65	154	1,112	1,371	
平成3年	20	20			65	154	1,114	1,373	
平成4年	20	20			65	154	1,110	1,369	1,350
平成5年	20	20			65	154	1,106	1,365	
平成6年	20	20			65	154	1,092	1,351	
平成7年	20	20			65	154	1,084	1,343	
平成8年	20	20			65	154	1,087	1,346	
平成9年	20	20			65	153	1,084	1,342	
平成10年	20	20			65	153	1,083	1,341	
平成11年	20	20			64	152	1,089	1,345	
平成12年	20	20			65	153	1,092	1,350	
平成13年	20	20			65	153	1,094	1,352	
平成14年	20	20			65	153	1,082	1,340	1,293
平成15年	20	20			65	153	1,070	1,328	
平成16年	20	20			65	153	1,065	1,323	
平成17年	20	20			65	153	1,058	1,316	
平成18年	20	20			65	154	1,052	1,311	
平成19年	20	20			64	154	1,041	1,299	
平成20年	20	20			65	154	1,029	1,288	
平成21年	20	20			65	154	991	1,250	
平成22年	20	20			65	154	975	1,234	
平成23年	20	20			65	154	977	1,236	
平成24年	20	20			65	154	958	1,217	1,077
平成25年	20	20			65	153	907	1,165	
平成26年	20	20			65	153	849	1,107	
平成27年	20	20			65	153	847	1,105	
平成28年	20	20			65	153	823	1,081	
平成29年	20	20			65	153	822	1,080	
平成30年	20	20			65	153	812	1,070	
令和元年	20	20			65	153	798	1,056	
令和2年	20	20			64	153	755	1,012	
令和3年	20	20			64	152	729	985	
令和4年	20	20			64	152	711	967	

■ 消防団員配置状況

(令和4年5月1日)

階級別 消防団名	団 長	副 団 長	部 長	班 長	団 員	うち		合 計	うち	
						女性	学生		女性	学生
東消防団	1	1	5	6	28	6		41	6	
中消防団	1	1	4	6	5			16		
南消防団	1	1	4	6	8			20		
与保呂消防団	1	1	3	4	34			43		
祖母谷消防団	1	1	3	4	47			56		
志楽消防団	1	1	2	6	50			60		
朝来消防団	1	1	4	9	35	4		51	4	
東大浦消防団	1	1	4	12	73			91		
西大浦消防団	1	1	4	12	97			115		
西消防団	1	1	3	7	17			29		
余内消防団	1	1	2	9	14	4		27	4	
池内消防団	1	1	2	8	35			47		
中筋消防団	1	1	2	8	26			38		
高野消防団	1	1	2	6	26			36		
四所消防団	1	1	2	7	32			43		
岡田上消防団	1	1	3	8	37			50		
岡田中消防団	1	1	5	8	52			67		
岡田下消防団	1	1	4	9	41			56		
八雲消防団	1	1	3	11	31			47		
神崎消防団	1	1	3	6	23			34		
合計人員	20	20	64	152	711	14		967	14	

定数	充足率
1,100	88%

消防団員平均年齢調べ

■ 消防団員平均年齢調べ

(令和4年5月1日)

階級 団名	団 長	副 団 長	部 長	班 長	団 員	平 均
東	63	68	52	46	42	45
中	62	67	49	52	25	45
南	48	47	51	48	30	42
与保呂	50	43	44	44	46	46
祖母谷	50	51	49	42	47	47
志楽	57	48	52	47	44	45
朝来	50	47	43	46	42	43
東大浦	47	47	44	45	47	47
西大浦	49	49	48	41	44	44
西	62	43	51	47	40	44
余内	53	54	49	44	45	46
池内	61	56	51	51	49	49
中筋	59	54	53	53	45	48
高野	56	52	53	48	47	48
四所	59	52	38	41	46	45
岡田上	58	55	50	46	46	47
岡田中	54	49	46	47	48	48
岡田下	56	54	48	47	46	46
八雲	58	54	53	51	46	48
神崎	54	55	52	45	46	47
現在員	20	20	63	153	711	967
小数点第1位四捨五入						
平均年齢	55	52	49	47	43	46

■ 消防団員平均勤続年数調べ

(令和4年5月1日)

階級 団名	団長	副団長	部長	班長	団員	平均
東	37	35	23	15	9	13
中	23	18	25	19	1	15
南	29	25	19	13	4	12
与保呂	25	18	16	15	18	18
祖母谷	19	25	19	12	17	17
志楽	33	24	22	24	15	17
朝来	21	21	18	13	13	13
東大浦	26	22	21	16	21	21
西大浦	25	26	23	16	16	17
西	22	24	18	13	10	13
余内	33	30	20	16	4	11
池内	30	33	23	19	18	19
中筋	25	25	18	18	10	13
高野	26	24	23	17	14	15
四所	25	24	8	12	16	15
岡田上	31	29	18	18	16	17
岡田中	29	21	20	19	19	19
岡田下	25	27	18	17	16	16
八雲	28	24	21	17	11	13
神崎	32	32	31	23	17	20
現在員	20	20	63	153	711	967
小数点第1位四捨五入						
平均勤続年数	27	25	20	16	13	16

消防団機械器具配置状況

■ 消防団機械器具配置状況

(令和4年5月1日)

消防団名	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ搬送車	小型動力ポンプ	デジタル簡易無線			デジタル受令機
					車載	卓上	携帯	
東消防団	3				3	1	13	4
中消防団	1	1		2	2	1	13	3
南消防団	1			1	1	1	12	2
与保呂消防団		1	1	2	1	1	9	2
祖母谷消防団		1	1	2	1	1	9	2
志楽消防団		1	1	6	1	1	11	2
朝来消防団	1		1	4	1	1	15	2
東大浦消防団		1	1	9	1	1	18	2
西大浦消防団		1	2	10	1	1	18	2
西消防団	2			1	2	1	12	3
余内消防団	1				1	1	13	2
池内消防団	1		1	4	1	1	12	2
中筋消防団	1		1	1	1	1	12	2
高野消防団	1		1	1	1	1	10	2
四所消防団	1		1	3	1	1	11	2
岡田上消防団	1	1	1	2	2	1	13	3
岡田中消防団	1		1	6	1	1	15	2
岡田下消防団	1		1	3	1	1	15	2
八雲消防団	1	1	1	1	2	1	16	3
神崎消防団	1		1	2	1	1	11	2
合計台数	18	8	16	60	26	20	258	46

■ 消防団機関表彰歴

(令和4年4月1日)

表彰区分 消防団名	総務大臣感謝状	消防庁長官		京都府知事			日本消防協会長			京都府消防協会長		
		表彰旗	竿頭綬	特別表彰旗	表彰旗	竿頭綬 団	まとい	表彰旗	竿頭綬 団	表彰旗 団	竿頭綬 団	無火災竿頭綬
東消防団	R2.3.9	H22.3.5	H2.3.8			S60.10.23				H7.1.1		
中消防団		H23.3.3	H3.3.6			S48.10.19 S62.3.30				H8.1.1	S45.12.1	
南消防団		H24.3.8	H4.3.4			S54.3.14 S62.10.14				H9.1.1	S50.12.1	
与保呂消防団		H25.3.6	H5.3.3			S52.3.18 H1.3.30				H10.1.1	S48.12.1	H22.1.1
祖母谷消防団		H26.3.5	H6.3.2			S54.11.9 H1.10.26				H11.1.1	S51.12.1	H13.1.1 H27.11.15
志楽消防団		H27.3.6	H7.3.2			S48.3.22 H2.11.27				H12.1.1	S44.12.1	
朝来消防団		H28.3.9	H8.3.6			S56.3.18 H3.10.23				H13.1.1	S52.12.1	
東大浦消防団		H29.3.8	H9.3.5		S41.11.15	H4.11.24			S34.12.1	S34.12.1 H14.1.1		
西大浦消防団		H30.3.7	H10.3.7			S44.10.16 H6.1.30				S44.12.1 H15.1.1		
西消防団		H30.3.7	H11.3.5			S60.3.29 H6.11.29		S27.12.1		H16.1.1	S57.1.1	
余内消防団		H31.3.6	H12.3.8			S56.10.27 H7.11.26				H17.1.1	S53.12.1	
池内消防団		H31.3.6	H13.3.8			S52.10.21 H8.12.4				H18.1.1	S49.12.1	
中筋消防団		R2.3.4	H14.3.6			S43.10.24 H10.2.1				S42.12.1 H19.1.1		
高野消防団		R2.3.4	H15.3.5			S50.10.30 H11.1.28				H20.1.1	S47.12.1	H8.1.1 H11.1.1 H14.1.1 H27.11.15
四所消防団		R3.3.10	H16.3.4			S58.3.25 H11.11.28				H21.1.1	S54.12.1	
岡田上消防団		R3.3.10	H17.3.4			S46.3.25 H13.1.28				H22.1.1	S42.12.1	
岡田中消防団		H21.3.6	S62.3.4			S46.10.21 H14.2.3				H6.1.1	S43.12.1	
岡田下消防団		R4.3.2	H18.3.3			S42.10.30 H15.2.2				S37.12.1 H23.1.1		
八雲消防団		R4.3.2	H19.3.2			S50.3.28 H15.11.30				H23.11.20	S46.12.1	S37.12.1
神崎消防団			H20.3.7			S58.11.4 H17.2.6				H25.2.10	S55.12.1	H15.1.1 H20.1.1

■ 舞鶴市消防団長連絡協議会

消防庁長官褒状

水防功労者国土交通大臣表彰

防災功労者内閣総理大臣表彰

H17.2.25

H31.2.13

R1.9.20

台風23号豪雨災害

平成30年度7月豪雨災害

平成30年度7月豪雨災害

■ 消防団協力事業所表示制度

現在、舞鶴市の各消防団では、産業構造や就業構造等の変化に伴い消防団員のサラリーマン化が進んでいます。

このため、事業所の従業員が消防団に入団しやすく、消防団員となった従業員が消防団活動しやすい環境作り及び事業所が所有する防災力の提供等の協力を得ることが出来た場合に、当該事業所に対し表示証を交付し、事業所が消防団への協力、地域への社会貢献を果たしていることを広く社会的に評価するもので、この制度により舞鶴市の各消防団と事業所との連携・協力体制が強化され、地域における消防・防災体制の充実強化を図ることを目的とした制度です。

■ 消防団協力事業所表示証交付事業所（令和4年5月現在）

交付順：敬称略

1	ジャパンマリユナイテッド株式会社舞鶴事業所	平成 24 年 3 月 7 日
2	日本板硝子株式会社舞鶴事業所	平成 24 年 3 月 7 日
3	京都北都信用金庫(東舞鶴中央支店・舞鶴中央支店)	平成 24 年 3 月 7 日
4	京都丹の国農業協同組合(舞鶴東支店・舞鶴西支店)	平成 24 年 3 月 7 日
5	日硝興産株式会社舞鶴支店	平成 27 年 2 月 1 日
6	小西商事株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
7	弥栄電設工業株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
8	賀川自動車工業株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
9	志摩機械株式会社	平成 27 年 10 月 1 日
10	京都府漁業協同組合	平成 28 年 3 月 25 日
11	田井水産有限公司	平成 28 年 3 月 25 日
12	株式会社野原水産	平成 28 年 3 月 25 日
13	日立造船株式会社舞鶴工場	平成 28 年 3 月 25 日
14	福村建設株式会社	平成 28 年 3 月 25 日
15	日之出化学工業株式会社 舞鶴工場	令和 3 年 9 月 10 日
16	田中産業株式会社	令和 3 年 9 月 10 日
17	日本通運株式会社 舞鶴支店	令和 3 年 10 月 8 日



「消防団協力事業所表示制度」表示マーク



「消防団協力事業所表示証」